

タグリッソ®を服用される方へ

タグリッソ®はEGFR T790M変異が陽性の非小細胞肺癌に用いられる薬剤です。

用法と服用上の注意点

- 1日1回服用してください。毎日同じ時間に服用することで飲み忘れを防ぎましょう。
- 飲み忘れたときは、気づいたときにすぐに1日分を飲んでください。ただし、2日分を一度に飲んだり、1日に2回も飲んだりしてはいけません。
- セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む食品と一緒に飲むと、お薬の作用が弱くなりますので摂取しないでください。
- リファンピシン、ロスバスタチン(クレストール®)、クラリスロマイシンなどのお薬を服用している方は、効果に影響が出る場合があるので必ず医師、薬剤師、看護師に申し出てください。
- 下痢があるときは、水分摂取をこまめに行いましょう。また、牛乳や乳酸菌製剤(ヨーグルトなど)、刺激物、アルコールの摂取を控えてください。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

服用当日～4週間

- 下痢
- 皮疹
- 間質性肺炎

4週間～数か月

- 皮膚乾燥
- 爪周囲炎
- 間質性肺炎

◇間質性肺炎

投与開始12週間以内の発現が多いことが報告されています。息切れ、空咳、発熱などの症状が現れた場合には、すぐに受診してください。

◇QT延長

心電図検査で見つかる異常で、軽い場合、症状はみられません。動悸やめまいなどの症状がある場合は相談してください。

◇血小板減少、好中球減少

血小板が減少すると血が止まりにくくなります。ケガや転倒には十分注意し、歯磨きや鼻をかむ時はやさしく行いましょう。

また、外出時はマスクを着用し、人ごみを避け、手洗い、うがいをこまめにしてください。

◇肝機能障害

ASTやALTが上昇することがあります。疲れを感じる、尿の色が濃くなる、皮膚や白目が黄色くなるなどの症状が現れた場合は、すぐに連絡してください。

◇皮疹・皮膚乾燥

主に顔や上半身、頭皮などに発疹が現れたり、皮膚が乾燥することがあります。

低刺激の保湿剤をこまめに塗ることで予防しましょう。(毎日1日2回以上)

発疹が現れた時は必ずスタッフに連絡してください。

◇爪周囲炎(爪囲炎)

爪の周りが腫れたり、爪が変形・変色したりします。爪の周りに保湿剤を塗ることで予防しましょう。爪囲炎が現れた時は、処置が必要な場合もありますので早めに報告してください。

◇下痢

便の回数が増えたり下痢が起こりやすくなります。スポーツ飲料などで水分補給し、おなかを温かくして安静にしてください。

1日に4回以上の下痢回数の増加が48時間以上続く場合は受診してください。さらに、1日7回以上の下痢の増加がある場合はすぐに受診してください。